(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第5113649号
(P5113649)
(45)発行日　平成25年1月9日(2013.1.9)　(24)登録日　平成24年10月19日(2012.10.19)

(51)Int.Cl.　F I
A63F 7/02 (2006.01)　A63F 7/02 312Z

請求項の数 2 (全 20 頁)

(21)出願番号　特願2008-179426(P2008-179426)
(22)出願日　平成20年7月9日(2008.7.9)
(65)公開番号　特開2010-17310(P2010-17310A)
(43)公開日　平成22年1月28日(2010.1.28)
審査請求日　平成23年2月21日(2011.2.21)

(73)特許権者　000161806
京楽産業．株式会社
愛知県名古屋市中区錦三丁目２４番４号
(74)代理人　100076473
弁理士　飯田　昭夫
(74)代理人　100112900
弁理士　江間　路子
(74)代理人　100136995
弁理士　上田　千織
(74)代理人　100150935
弁理士　村松　孝哉
(72)発明者　泉　邦秋
愛知県名古屋市中区錦三丁目２４番４号
京楽産業．株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】パチンコ遊技機

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
センター役物が、
遊技球をそれぞれ転動可能な上ステージと該上ステージの下方に配置される下ステージとの少なくとも二つのステージを有するステージ部と、
遊技球を、前記上ステージに開口させた流入口から流入させ、流出口から入賞口へ向けて流出可能とする入賞補助通路と、
遊技球を、上面側の支持面上に載せて前記下ステージ側から前記上ステージ側まで上昇可能として、上下往復移動可能なリフトと、
前記流入口に流入しなかった遊技球を、前記上ステージから前記下ステージに戻し可能な戻しルートと、
前記下ステージに配置されて、前記下ステージの前縁から遊技球をセンター役物外へ排出可能な排出路と、
前記ステージ部に遊技球を入球させる入球口と、
を備えて構成されるパチンコ遊技機であって、
前記リフトが、
前記支持面の左右方向の幅寸法を、前記流入口の左右方向の開口寸法と、前記上ステージの戻しルートにおける前記流入口の左右にそれぞれ隣接する少なくとも遊技球１個の直径寸法分の隣接エリアの左右方向の幅寸法と、を合わせた寸法以上として、前記流入口の前側に配置されるとともに、

最下降時の前記支持面を、前記下ステージを転動する遊技球を受け入れ可能な高さ位置に配置させ、かつ、最上昇時の前記支持面の後縁側を、前記流入口の下縁付近の高さ位置に配置させるように、前記支持面を上下動可能に配設され、さらに、
前記支持面が、前記リフトの最上昇時に、前記流入口と左右の前記隣接エリアとにわたる前側に、前記後縁を配置させて、支持した遊技球を、前記流入口若しくは左右の前記隣接エリアに転動可能に、後下がりで、かつ、左右に揺動可能に支持するように、下方へ凹む凹面として、形成され、
前記リフトが、前記支持面上で支持した遊技球を落下させない範囲の振幅で上下若しくは左右に振動しつつ、上昇するように配設されていることを特徴とするパチンコ遊技機。

【請求項２】
センター役物が、
遊技球をそれぞれ転動可能な上ステージと該上ステージの下方に配置される下ステージとの少なくとも二つのステージを有するステージ部と、
遊技球を、前記上ステージに開口させた流入口から流入させ、流出口から入賞口へ向けて流出可能とする入賞補助通路と、
遊技球を、上面側の支持面上に載せて前記下ステージ側から前記上ステージ側まで上昇可能として、上下往復移動可能なリフトと、
前記流入口に流入しなかった遊技球を、前記上ステージから前記下ステージに戻し可能な戻しルートと、
前記下ステージに配置されて、前記下ステージの前縁から遊技球をセンター役物外へ排出可能な排出路と、
前記ステージ部に遊技球を入球させる入球口と、
を備えて構成されるパチンコ遊技機であって、
前記リフトが、
前記支持面の左右方向の幅寸法を、前記流入口の左右方向の開口寸法と、前記上ステージの戻しルートにおける前記流入口の左右にそれぞれ隣接する少なくとも遊技球１個の直径寸法分の隣接エリアの左右方向の幅寸法と、を合わせた寸法以上として、前記流入口の前側に配置されるとともに、
最下降時の前記支持面を、前記下ステージを転動する遊技球を受け入れ可能な高さ位置に配置させ、かつ、最上昇時の前記支持面の後縁側を、前記流入口の下縁付近の高さ位置に配置させるように、前記支持面を上下動可能に配設され、さらに、
前記支持面が、前記リフトの最上昇時に、前記流入口と左右の前記隣接エリアとにわたる前側に、前記後縁を配置させて、支持した遊技球を、前記流入口若しくは左右の前記隣接エリアに転動可能に、後下がりで、かつ、左右に揺動可能に支持するように、下方へ凹む凹面として、形成され、
前記入賞補助通路における前記流出口側の部位が、前記リフトの前記支持面の下方に配設されるとともに、前記リフト側に延びる分岐通路を設けて、配設され、
前記リフトが、最上昇位置への配置時に、前記下ステージから前記リフト側に転動する遊技球を前記分岐通路を経て前記入賞補助通路へ流入可能に開口し、かつ、下降時に前記下ステージの下方に隠れる第２の流入口を、配設させていることを特徴とするパチンコ遊技機。

【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、センター役物が上ステージから下ステージに転動する遊技球を下ステージから上ステージに上げるリフトを備えて構成されているパチンコ遊技機に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、パチンコ遊技機では、遊技球を下ステージから上ステージに上げるようなリフトを、センター役物に設けたものが知られている（例えば、特許文献１参照）。

【０００３】
このセンター役物では、上ステージの左右方向の中央付近に、入賞補助通路の流入口を配置させ、流入口の左右両側の部位に、リフトを配置させていた。左右のリフトは、それぞれ、遊技球を上面側で支持する支持面が、左右方向の両側を低くして、左右方向の中央に、前後に沿った稜線とするような山形状の突起を設けて構成されていた。なお、入賞補助通路は、流出口を下ステージ下方に位置した入賞口の上方で開口させて、流入口から流入した遊技球を、入賞口へ入り易くするように流出口から流出させるものである。この入賞口は、デジパチ等での抽選を開始する始動入賞口等であり、入球によって遊技者に特典を与えることとなる。
【０００４】
そして、上ステージは、左右のリフトのそれぞれの左右両側における流入口側のエリアを、流入口側に向かって低くなる流入案内面とし、左右のリフトのそれぞれの左右両側における流入口から離れた外側のエリアを、上ステージの左右両縁側に向けて低くなる傾斜面としていた。また、下ステージは、上ステージの左右の縁側に上面を連ならせて、左右方向の中央付近を下方へ低くし、左右方向の中央付近を、センター役物の下方へ落下させる排出路としていた。さらに、センター役物の周囲の飾り枠体におけるステージ部の上方側には、入球した遊技球を下ステージ上に転動可能に案内するワープ通路の入口が、開口していた。
【０００５】
既述の左右のリフトは、最下降時に、下ステージを転動する遊技球を支持面に受け入れ可能とし、最上昇時に、支持面の左右の縁を、上ステージにおける流入案内面と傾斜面とに連ならせるように、配設されていた。
【０００６】
そして、遊技球は、下ステージを転動中に、最下降時のリフトの支持面に受け入れられれば、リフトにより上昇し、リフトの最上昇時において、支持面上の突起より流入案内面側に載っていれば、流入案内面側に転動して流入口に流入し、あるいは、支持面上の突起より傾斜面側に載っていれば、傾斜面側に転動して、上ステージから下ステージに転動することとなる。この下ステージに転動した遊技球は、再度、最下降時のリフトの支持面に受け入れられれば、支持面で上昇して、突起で振り分けられ、そして、流入口側に転動するか、若しくは、戻しルートを通るように下ステージ側に転動する。あるいは、下ステージに転動した遊技球が、リフトの支持面に受け入れられなければ、排出路から排出することとなっていた。
【０００７】
このようなパチンコ遊技機では、遊技球が、リフトの支持面に載って、入賞補助通路の流入口に入球するか、あるいは、下ステージに転動するかで、遊技者にハラハラドキドキさせることができた。
【特許文献１】特開２００５－１３１０６０号公報
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００８】
しかし、従来のパチンコ遊技機では、遊技球がリフトの支持面に載った時点で、突起で振り分けられてしまい、遊技者が、支持面の上昇前に、突起より流入案内面側に載っていれば、流入案内面側に転動することが分かり、また、支持面上の突起より傾斜面側に載っていれば、傾斜面側に転動してしまうことが分かってしまい、一層、遊技者にハラハラドキドキさせる趣向性に関し、改善の余地があった。
【０００９】
本発明は、上述の課題を解決するものであり、遊技球を流入口付近までリフトにより上昇させる際に、一層、遊技の趣向性を向上させることができるパチンコ遊技機を提供することを目的とする。
【課題を解決するための手段】

【００１０】
本発明に係るパチンコ遊技機は、センター役物が、
遊技球をそれぞれ転動可能な上ステージと上ステージの下方に配置される下ステージとの少なくとも二つのステージを有するステージ部と、
遊技球を、上ステージに開口させた流入口から流入させ、流出口から入賞口へ向けて流出可能とする入賞補助通路と、
遊技球を、上面側の支持面上に載せて下ステージ側から上ステージ側まで上昇可能として、上下往復移動可能なリフトと、
流入口に流入しなかった遊技球を、上ステージから下ステージに戻し可能な戻しルートと、
下ステージに配置されて、下ステージの前縁から遊技球をセンター役物外へ排出可能な排出路と、
ステージ部に遊技球を入球させる入球口と、
を備えて構成されるパチンコ遊技機であって、
リフトが、
支持面の左右方向の幅寸法を、流入口の左右方向の開口寸法と、上ステージの戻しルートにおける流入口の左右にそれぞれ隣接する少なくとも遊技球１個の直径寸法分の隣接エリアの左右方向の幅寸法と、を合わせた寸法以上として、流入口の前側に配置されるとともに、
最下降時の支持面を、下ステージを転動する遊技球を受け入れ可能な高さ位置に配置させ、かつ、最上昇時の支持面の後縁側を、流入口の下縁付近の高さ位置に配置させるように、支持面を上下動可能に配設され、さらに、
支持面が、リフトの最上昇時に、流入口と左右の隣接エリアとにわたる前側に、後縁を配置させて、支持した遊技球を、流入口若しくは左右の隣接エリアに転動可能に、後下がりで、かつ、左右に揺動可能に支持するように、下方へ凹む凹面として、形成されていることを特徴とする。
【００１１】
本発明に係るパチンコ遊技機では、入球口を経てステージ部上に転動した遊技球がリフトに載れば、その遊技球は、左右に揺動可能な凹面からなる支持面上に載って上昇することから、支持面に載った時点のリフトの上昇前から、リフトの上昇途中を含めて、最上昇位置の上ステージ側の流入口若しくは隣接エリアに転動するまで、支持面上を左右に揺動可能となる。そして、支持面の左右方向の幅寸法が、流入口の左右方向の開口寸法と、上ステージの戻しルートにおける流入口の左右にそれぞれ隣接する少なくとも遊技球１個の直径寸法分の隣接エリアの左右方向の幅寸法と、を合わせた寸法以上としている。すなわち、支持面を左右に揺動する遊技球は、流入口に流入可能な位置を中心として、戻しルートとなる左右の隣接エリアに転動する可能性のある範囲まで、左右に大きく揺動するため、リフトが最上昇位置に上昇するまで、遊技球が流入口若しくは左右の隣接エリアのどちらに転動するかと、遊技者にハラハラドキドキさせることとなる。
【００１２】
したがって、本発明に係るパチンコ遊技機では、遊技球を、上昇時のリフトの支持面上で、流入口に流入しない隣接エリアを含めて、流入口の左右方向の開口寸法を超えて、左右に揺動可能としていることから、リフトが遊技球を支持面に受け入れた後から流入口付近まで上昇する際の遊技の趣向性を、向上させることができる。
【００１３】
そして、支持面は、流入口の前側の部位に、左右方向に沿う鉛直断面で最も低く凹む中央底部を設け、中央底部から左右両側に離れるに従って高くなるような凹面として、形成することが望ましい。このような構成では、リフトの支持面を、前後のスペースを小さく抑制しつつ、極力、遊技球の大きな左右の揺動を確保できるように構成できる。また、このような凹面の支持面では、流入口の左右両側に隣接エリアを設けて、遊技球が、支持面上を左右に揺動しても、中央底部に収束するように留まり易く、その結果、支持面上で支

持する遊技球の中央底部から流入口に入る確率を高くできて、遊技の趣向性を一層向上させることができる。

【００１４】

さらに、この場合、支持面の凹面を、中央底部の後縁側を最も低く凹ませるすり鉢状に形成すれば、遊技球を留まり易くした中央底部が、さらに中央底部の後縁側で遊技球を留め易くすることとなって、遊技球を支持した支持面が、リフトの上昇に伴った流入口の下縁付近に到達した際、中央底部の後縁側から遊技球を流入口に流入させ易くなり、支持面で支持した遊技球を流入口に流入させる確率を高くできて、遊技の趣向性を一層向上させることができる。

【００１５】

また、本発明に係るパチンコ遊技機では、リフトの最下降時の支持面の前側における下ステージの前後の部位に、下ステージから落下させて排出路を構成する前下がりの傾斜面と、遊技球をリフトの支持面側に案内可能な後下がりの案内面と、を配設することが望ましい。

【００１６】

このような構成では、下ステージを遊技球が転動する際、遊技球が、案内面を経てリフトに載るか、あるいは、排出路を経て下ステージから落下するかと、遊技者にハラハラドキドキさせることとなって、一層、遊技の趣向性を向上させることができる。

【００１７】

さらに、リフトは、支持面上で支持した遊技球を落下させない範囲の振幅で上下若しくは左右に振動しつつ、上昇するように配設してもよい。このような構成では、支持面上で支持されて上昇する遊技球が、単に、時計の振り子のように左右に揺動するだけでなく、微妙に振動しつつ支持面上を左右に揺動するため、流入口に流入可能か否かと、遊技者に一層ハラハラドキドキさせることができる。

【００１８】

また、本発明に係るパチンコ遊技機では、入賞補助通路における流出口側の部位を、リフトの支持面の下方に配設するとともに、リフト側に延びる分岐通路を設けて、配設し、

リフトには、最上昇位置への配置時に、下ステージからリフト側に転動する遊技球を分岐通路を経て入賞補助通路へ流入可能に開口し、かつ、下降時に下ステージの下方に隠れる第２の流入口を、配設させてもよい。

【００１９】

このような構成では、上ステージ側に開口した第１の流入口への流入を逃した遊技球を、リフトの上昇時に開口する第２の流入口に流入させて、入賞補助通路の流出口から入賞口に入球させることができ、遊技者に、入賞補助通路への遊技球の流入の期待感を増進させることができる。また、この第２流入口は、常時開口している訳ではなく、リフトの下降に伴って閉口するものであって、リフトの上下往復移動に伴って開閉を繰り返すことから、第２流入口に入るか否かと遊技者にハラハラドキドキさせることができて、一層、遊技の趣向性を向上させることができる。

【００２０】

さらに、本発明に係るパチンコ遊技機では、入賞補助通路における流出口側の部位は、リフトの支持面の下方で、前後方向に貫通するように配設し、リフトには、下部に、入賞補助通路の内周側に延びて、入賞補助通路内の遊技球を減速させて流出口側へ案内可能に、遊技球に接触する干渉部、を設けることが望ましい。

【００２１】

このような構成では、入賞補助通路を通過する遊技球が、干渉部に接触して減速するため、流出口から流出する遊技球が、入賞口への入球確率を高めることができ、このため、流入口の存在感を高めて、流入口へ入るか否かと一層遊技者にハラハラドキドキさせることができ、遊技の趣向性を向上させることができる。そしてまた、このような構成では、流入口へ流入した遊技球に接触させて遊技球を減速させる干渉部を、支持面で支持した遊技球を流入口に流入可能に上下動を繰り返すリフトに、設けており、別途、干渉部を配設

しなくともよく、部品点数を少なく構成できる。そして特に、干渉部が、上下動を繰り返すリフトに配設されていれば、干渉部の遊技球に接触するタイミングや接触の程度を、リフトの上下動に伴って種々設定でき、遊技球の減速の有無や減速の程度の調整や設定を、容易に行うことができる。例えば、干渉部が、リフトの上下動に伴って、通過時の遊技球に対する減速状態を変動可能に、遊技球に対する接触抵抗を上下にわたって変化させるように、配設されていれば、遊技球の減速の有無や減速の程度の調整や設定を、容易に行うことができる。また例えば、干渉部を、遊技球の前面側を受け止め可能に構成して、リフトの下降時に、干渉部を遊技球の前面側から離脱させるように下降移動させたり、あるいは、リフトの上昇時に、干渉部を遊技球の前面側から離脱させるように上昇移動させる構成とすれば、遊技球を、干渉部で受け止めて停止させるように減速させ、その後、流出口側へ転動させることができて、流出口から流出する遊技球の速度を、入賞口への入賞確率をより高めるように、安定させることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【００２２】

以下、本発明の一実施形態を図面に基づいて説明すると、実施形態のパチンコ遊技機（以下、単に遊技機と略す）１では、図１に示すように、遊技盤面２における外側レール３と内側レール４とで囲まれた遊技領域５を備え、遊技領域５には、その中央に、飾り枠体１３に囲まれてセンター役物１６が配設されている。センター役物１６の後方には、液晶等で所定の図柄を表示する図柄表示装置１４が配設されている。

【００２３】

遊技領域５の飾り枠体１３の周囲には、図示しない釘、風車６、普通入賞口７、賞球の無い入賞口８、始動入賞口９、電動チューリップ１０、大入賞口１１、アウト口１２等の公知の部材が配設されて、図示しないハンドルを操作し、遊技球を外側レール３と内側レール４との間から遊技領域５に打ち出せば、遊技球は、普通入賞口７、賞球の無い入賞口８、始動入賞口９、電動チューリップ１０、大入賞口１１、アウト口１２のいずれかに入球する。そして、遊技球が、普通入賞口７や開放時の大入賞口１１に入賞すれば、所定数の遊技球を獲得でき、入賞口８に入賞すれば、抽選により電動チューリップ１０を所定時間若しくは所定回数開放させることとなる。また、遊技球が、始動入賞口９や開放時の電動チューリップ１０に入賞すれば、抽選により、大当たり、中当たり、小当たり等の当たりや外れが決定され、当たりとなれば、大入賞口１１を、その当たりに応じて開放時間、開放回数、入賞個数等を制限して、開放することとなる。これらの作動や遊技フローは、公知のものであり、遊技盤面２の背面側に配置された図示しないメイン制御基板が、入賞時のセンシングに基づき、各種の作動信号を出力し、そして、メイン制御基板からの当たりや外れ等の抽選結果に基づいて、図示しないサブ制御基板が、所定数の遊技球を払い出したり、所定のランプやスピーカ等を作動させつつ、所定の演出を図柄表示装置１４に表示することとなる。

【００２４】

そして、飾り枠体１３で囲まれた実施形態のセンター役物１６は、図２に示すように、ステージ部１９、ワープ通路１７、入賞補助通路４９、及び、リフト６０を配設させて構成されている。ステージ部１９は、飾り枠体１３の下枠１３ａ側に配置されて、遊技球Ｂを上面側でそれぞれ転動可能な上ステージ２０と上ステージ２０の下方に配置される下ステージ３２との少なくとも二つのステージ２０，３２を有して構成されている。なお、実施形態では、図柄表示装置１４に近い後部側に上ステージ２０が配設され、下ステージ３２が、前部側に配置されている。

【００２５】

ワープ通路１７は、図１，２に示すように、ステージ部１９への遊技球Ｂの入球口となるもので、飾り枠体１３におけるステージ部１９の上方側の左枠１３ｂ側で開口した入口１７ａから入る遊技球Ｂを、ステージ部１９の上ステージ２０の左縁側に転動可能に案内するように、配設されている。

【００２６】

入賞補助通路４９は、図１，２に示すように、流出口５１を下ステージ３２の下方に位置した始動入賞口９の上方で開口させ、また、上ステージ２０の左右方向の中央付近に流入口５０を開口させて構成されて、流入口５０から流入した遊技球Ｂを、自重により、流出口５１まで転動させ、流出口５１から、始動入賞口９へ流出可能として、始動入賞口９への入賞を補助するために配設されている。この入賞補助通路４９は、図６に示すように、上ステージ２０の左右方向の中央付近に配置された流入口５０から、上ステージ２０の背面、下方、さらに、下ステージ３２の左右方向の中央の下方に位置する流出口５１まで、前後方向に沿った略Ｌ字状の通路として構成されている。そして、実施形態の場合には、入賞補助通路４９における流出口５１側の前後方向に沿って前下がりの直線状とした流出側通路５２には、上方のリフト６０側に延びる分岐通路５３が配設されている。この分岐通路５３は、リフト６０に設けた後述する第２流入口６９から流入した遊技球Ｂを、分岐通路５３に流入させて、さらに、分岐通路５３を経て流出側通路５２に流入させ、そして、流出口５１から始動入賞口９側へ流出可能に構成されている。ちなみに、実施形態の場合、流出側通路５２の上部側の周壁がリフト６０により構成されて、リフト６０の上昇に伴って第２流入口６９が上方に移動しつつ開口する際に、第２流入口６９から流出側通路５２までのリフト６０内を通過する部位として、分岐通路５３が上下方向に沿って長く形成される構成としている。

【００２７】

そして、ステージ部１９の上ステージ２０は、図２，３に示すように、上面側で遊技球Ｂを転動可能な上転動面２１を備え、上転動面２１は、左右方向の中央付近となる中央部２２を高くし、中央部２２から左右に延びる左面部２７と右面部２８とを、それぞれ、中央部２２から離れるに従って低くし、さらに、最も低い底部２７ａ，２８ａから外縁２７ｂ，２８ｂ側にかけて、徐々に高くするように構成されている。ワープ通路１７の出口１７ｂは、中央部２２側に向いて、左面部２７の外縁２７ｂ付近に配設されている。そして、中央部２２は、流入口５０の前側に位置する前側部２３に、流入口５０への流入を補助するように流入口５０の開口面積を前方側に広げる案内口２３ａを設けて構成されている。案内口２３ａの前側には、案内口２３ａへの遊技球Ｂの後方側への転動を僅かに邪魔するように、小さな突起２３ｂが設けられている。

【００２８】

また、上ステージ２０の後縁側には、図１，２に示すように、図柄表示装置１４側との境界として、背面壁３０が左右方向に沿って上方に突設され、背面壁３０の左右方向の中央に流入口５０が開口している。この流入口５０は、案内口２３ａとともに、左右方向の開口寸法ＷＨを、一個分の遊技球Ｂの直径寸法より僅かに大きな寸法（図７のＡ参照）としている。

【００２９】

また、上ステージ２０の上転動面２１の前縁側には、図２に示すように、底部２７ａ，２８ａより外縁２７ｂ，２８ｂ側のエリアに、下ステージ３２と区画するための仕切壁４０，４１が左右方向に沿って配設されている。また、底部２７ａ，２８ａ間の上転動面２１の前縁側には、下降時のリフト６０側への遊技球Ｂの落下を防止する突条２６が突設されている。さらに、突条２６の前方側におけるリフト６０の配設部位を除いたエリアでは、上ステージ２０と下ステージ３２とを区画する区画壁３９が、上転動面２１より上方に突出するように配設されている。

【００３０】

ステージ部１９の下ステージ３２は、図２，４に示すように、上面側で遊技球Ｂを転動可能な下転動面３３を備え、下転動面３３は、左右方向の中央付近となる中央部３４を低くし、中央部の左右両側を高くするように構成され、左右の外縁３３ａ，３３ｂに至る途中で、上ステージ２０の上転動面２１における左面部２７と右面部２８との底部２７ａ，２８ａ付近から、上転動面２１と略面一の同じ曲面として構成されている。中央部３４の後方側には、区画壁３９の収納孔３９ａに収納された状態から上下往復移動を繰り返すリフト６０が配設されている。そして、中央部３４には、図４や図６のＡに示すように、前

部側に配置される二つの前下がりの傾斜面３６，３６と、後部側に配置されて遊技球Ｂをリフト６０の支持面６１側に案内可能な後下がりの一つの案内面３５と、が配設されている。二つの傾斜面３６，３６は、遊技球Ｂを下ステージ３２の前縁から飾り枠体１３（センター役物１６）外の下方へ自由落下させて排出する排出路４４を構成するものであり、二つの傾斜面３６，３６の間には、下方の始動入賞口９に入賞するように自由落下することを邪魔するように、小さな突起３７が形成されている。また、下転動面３３の前縁側には、傾斜面３６，３６と突起３７とが配設されたエリアを除いて、すなわち、排出路４４のエリアを除いて、遊技球Ｂの前方側への落下を防止可能な突条４２，４３が、小さな突出量として、上方に突設されている。

【００３１】

また、上ステージ２０の底部２７ａ，２８ａの前方側には、仕切壁４０，４１と区画壁３９との間に、上転動面２１から下ステージ３２の下転動面３３に遊技球Ｂを転動させる連通口４７，４７が形成されている。

【００３２】

そして、遊技球Ｂが、図４に示すように、リフト６０の支持面６１で支持されて上転動面２１の中央部２２まで持ち上げられ、流入口５０に流入しなかった場合には、その遊技球Ｂは、図２に示すように、左面部２７若しくは右面部２８を底部２７ａ，２８ａ付近まで転動し、連通口４７，４７を経て、底部２７ａ，２８ａから下ステージ３２の下転動面３３に転動し、そして、中央部３４のリフト６０付近まで転動し、排出路４４から排出されなければ、再度、リフト６０で持ち上げられて循環するようなループ動作する場合が生ずる。すなわち、左面部２７や右面部２８は、下転動面３３とともに、連通口４７，４７を利用して、遊技球Ｂをループ動作で戻すような戻しルート４６を構成している。

【００３３】

リフト６０は、図３～５に示すように、遊技球Ｂを、上面側の支持面６１上に載せて下ステージ３２側から上ステージ２０側まで上昇可能として、上下往復移動を繰り返すものであり、実施形態の場合には、飾り枠体１３の内部に配設された一つの電動モータ７６を駆動源とした駆動機構７５により、上下往復移動を繰り返している。

【００３４】

駆動機構７５は、簡単に説明すると、図８に示すように、電動モータ７６の駆動軸７６ａに設けた偏心カム７７、左右方向に往復移動可能に飾り枠体１３内で支持されたカムレバー７８，７８Ｒ、上下方向に回動可能に飾り枠体１３内で支持されたクランク８０，８０Ｒ、リンク７９，７９Ｒを備えて構成されている。そして、駆動機構７５の作動時には、電動モータ７６の駆動軸７６ａが回転駆動することにより、偏心カム７７のピン７７ａを摺動させる摺動溝７８ａを有したカムレバー７８が、左右方向に往復移動し、カムレバー７８の先端７８ｂとクランク８０の下アーム８０ｂの先端とに回転自在に軸支されたリンク７９を介して、クランク８０を軸支部８０ａ回りで、上下方向に揺動させる。そして、クランク８０が上下に揺動すれば、クランク８０の上アーム８０ｃの先端のピン８０ｄを摺動溝部６７内で左右に摺動させていたリフト６０が、上下往復移動することとなる。なお、リフト６０の右側のクランク８０Ｒ、リンク７９Ｒ、及び、カムレバー７８Ｒは、電動モータ７６の駆動力が直接作用しないものの、左側のクランク８０、リンク７９、及び、カムレバー７８と、略左右対称形に配設されて同様な動作を行って、リフト６０をバランス良く上下往復移動させるように、配設されている。また、図８に示す符号８２の部材は、カムレバー７８，７８Ｒの左右方向の往復移動を支持する支持ガイドであり、符号８３の部材は、クランク８０，８０Ｒを回動自在に支持する支持軸であり、これらの支持ガイド８２や支持軸８３は、飾り枠体１３の内部の部位に配設固定されている。さらに、リフト６０は、区画壁３９の収納孔３９ａの内周面３９ｂに案内されて（図７のＡ参照）、上下往復移動することとなる。

【００３５】

リフト６０は、図８に示すように、略長方形板状として、上面の全域を支持面６１として構成されている。そして、支持面６１の左右方向の幅寸法ＷＬは、図７のＡに示すよう

に、流入口５０の左右方向の開口寸法ＷＨと、上ステージ２０の戻しルート４６における流入口５０の左右にそれぞれ隣接する少なくとも遊技球Ｂの１個の直径寸法分とした隣接エリア２４，２５の左右方向の幅寸法ＷＡ，ＷＡと、を合わせた寸法以上として、流入口５０の前側に配置されている。なお、実施形態の支持面６１の左右方向の幅寸法ＷＬは、遊技球Ｂの直径寸法の約４倍の寸法に設定されている。また、支持面６１の前後方向の奥行寸法ＤＬは、上転動面２１や下転動面３３の奥行寸法ＤＲと略等しく、遊技球Ｂの１個の直径寸法より僅かに大きな寸法としている（図６のＡ参照）。

【００３６】

また、リフト６０は、図６のＡに示すように、最下降時の支持面６１の前縁６１ａを、下ステージ３２の下転動面３３の中央部３４を転動する遊技球Ｂを受け入れ可能な高さ位置に配置させ、かつ、図６のＢに示すように、最上昇時の支持面６１の後縁６１ｂ側を、流入口５０の下縁付近の高さ位置に配置させるように、支持面６１を上下動可能に配設されている。なお、実施形態の場合、支持面６１は、最下降時の前縁６１ａを、下ステージ３２の中央部３４の案内面３５に連なるように、設定され、最上昇時の支持面６１の後縁６１ｂは、実施形態の場合、突条２６を僅かに超えた上方に配置されるように設定されている。

【００３７】

そして、リフト６０は、図６～８に示すように、支持面６１が、リフト６０の最上昇時に、流入口５０と左右の隣接エリア２４，２５とにわたる前側に、後縁６１ｂを配置させて、支持した遊技球Ｂを、流入口５０若しくは左右の隣接エリア２４，２５に転動可能に、後下がりで、かつ、左右に揺動可能に支持するように、下方へ凹む凹面として、形成されている。さらに、実施形態の場合、支持面６１が、流入口５０の前側の部位に、左右方向に沿う鉛直断面で最も低く凹む中央底部６２を設け、中央底部６２から左右両側に離れる左縁部６３や右縁部６４に従って高くなるような凹面として、形成されている。実施形態では、支持面６１は、円弧の曲面の一部から構成され、その半径寸法ＲＬ（図７のＡ参照）は、遊技球Ｂの直径寸法の２０～４０倍程度の２００～４００ｍｍ程度としている。なお、実施形態では、凹面自体は、支持面６１の左右両縁まで形成されていないが、凹面上を左右の揺動する遊技球Ｂは、球形状であって、凹面上を左右に揺動すれば、支持面６１の左右の略幅寸法ＷＬ分、揺動可能となる。

【００３８】

さらに、リフト６０には、図４，５に示すように、最上昇位置への配置時に、下ステージ３２の下転動面３３における中央部３４の案内面３５からリフト６０側に転動する遊技球Ｂを分岐通路５３を経て入賞補助通路４９の流出側通路５２へ流入可能に開口する第２流入口６９が、開口している。この第２流入口６９は、図２，３に示すように、リフト６０の下降時には、下ステージ３２の下転動面３３の案内面３５の下方に隠れるように形成され、実施形態の場合、上縁側を半円形に開口させて、リフト６０の下縁まで開口させた長穴状としている。そのため、実施形態のリフト６０は、正面視として、上面を支持面６１とした天井壁部６５と、天井壁部６５の左右両側から第２流入口６９を間にして下方に延びる左右の支持脚部６６，６６と、を備えた門型（逆Ｕ字形）に形成されている（図８参照）。この第２流入口６９の左右方向の開口寸法は、流入口５０の開口寸法ＷＨと等しく設定されて、一個分の遊技球Ｂの直径寸法より僅かに大きな寸法としている（図７のＣ参照）。なお、リフト６０を上下動させる駆動機構７５のクランク８６，８６Ｒのピン８０ｄが摺動する摺動溝部６７は、天井壁部６５の後面側に設けられている。

【００３９】

さらに、リフト６０の下部側における左右の支持脚部６６，６６の相互の対向部位には、図６～８に示すように、略半円板形状の干渉部７１，７１が形成されている。各干渉部７１は、リフト６０を形成した合成樹脂等の形成材料で一体的に形成されて、相互に接近するように配設されている。そして、干渉部７１，７１は、入賞補助通路４９の周壁に設けられたスリット５４を経て、流出側通路５２の内周側に延びるように配設されて、流出側通路５２内を通過する遊技球Ｂを減速させて流出口５１側へ案内可能に、遊技球Ｂに接

触するように配設されている。この干渉部７１は、リフト６０の最上方位置の配置時から、下転動面３３の案内面３５から上方に開口している第２流入口６９が、開口面積を略半分程度まで狭める高さ位置まで下降する際（図５，７のＣ，Ｂ参照）、流出側通路５２の左右両側から流出側通路５２の中心側へ延びるように配設されている。そして、流出側通路５２を通過する遊技球Ｂが、干渉部７１，７１に接触すれば、停止するまで減速されて、リフト６０の更なる下降に伴い（図５，７のＣ，Ｂ，Ａ参照）、干渉部７１，７１が遊技球Ｂの前面側から下方に移動して、遊技球Ｂは、減速された状態で流出口５１側に転動し、落下する放物線を始動入賞口９へ入賞し易い軌跡として、始動入賞口９に入賞する確率を高めて、流出口５１から流出（落下）することとなる（図６のＢ参照）。

【００４０】

実施形態の遊技機１の作動を説明すれば、電源オンとともに、リフト６０が、駆動機構７５の作動によって上下往復移動を繰り返すこととなり、そして、遊技時、ワープ通路１７の入口１７ａに遊技球Ｂが入球されれば、遊技球Ｂは、出口１７ｂから上ステージ２０の上転動面２１の左面部２７を中央部２２側に駆け上がるように転動する（図３，４参照）。そして、遊技球Ｂが、流入口５０に流入しなければ、その後、例えば、右面部２８の底部２８ａから下ステージ３２の下転動面３３に転動し、中央部３４のエリアに到達して、案内面３５上に載り、その際、リフト６０が最下降時に配置されていれば、支持面６１上に案内されて、リフト６０とともに上昇する。この時、図５のＡ，Ｂ，Ｃや図７のＡ，Ｂ，Ｃに示すように、リフト６０に載った遊技球Ｂは、左右に揺動可能な凹面からなる支持面６１上に載って上昇することから、支持面６１に載った時点のリフト６０の上昇前から、リフト６０の上昇途中を含めて、最上昇位置の上ステージ２０側の流入口５０若しくは隣接エリア２４，２５に転動するまで、支持面６１上を左右に揺動可能となる。

【００４１】

そして、支持面６１の左右方向の幅寸法ＷＬが、流入口５０の左右方向の開口寸法ＷＨと、上ステージ２０の戻しルート４６における流入口５０の左右にそれぞれ隣接する少なくとも遊技球１個の直径寸法分の隣接エリア２４，２５の左右方向の幅寸法ＷＡ，ＷＡと、を合わせた寸法以上としている。すなわち、支持面６１を左右に揺動する遊技球Ｂは、流入口５０に流入可能な位置を中心として、戻しルート４６となる左右の隣接エリア２４，２５に転動する可能性のある範囲まで、左右に大きく揺動するため、リフト６０が最上昇位置に上昇するまで、遊技球Ｂが流入口５０若しくは左右の隣接エリア２４，２５のどちらに転動するかと、遊技者にハラハラドキドキさせることとなる。

【００４２】

したがって、実施形態の遊技機１では、遊技球Ｂを、上昇時のリフト６０の支持面６１上で、流入口５０に流入しない隣接エリア２４，２５を含めて、流入口５０の左右方向の開口寸法ＷＨを超えて、左右に揺動可能としていることから、リフト６０が遊技球Ｂを支持面６１に受け入れた後から流入口５０付近まで上昇する際の遊技の趣向性を、向上させることができる。

【００４３】

さらに、実施形態では、支持面６１が、流入口５０の前側の部位に、左右方向に沿う鉛直断面で最も低く凹む中央底部６２を備え、中央底部６２から左右両側に離れる左縁部６３や右縁部６４に向かうに従って高くなるような凹面として、形成されている。そのため、このような凹面の支持面６１では、図６に示すように、リフト６０の支持面６１を、前後のスペースを小さく抑制しつつ、極力、遊技球Ｂの大きな左右の揺動を確保できるように構成できる。また、このような凹面の支持面６１では、流入口５０の左右両側に隣接エリア２４，２５を設けて、遊技球Ｂが、支持面６１上を左右に揺動しても、中央底部６２に収束するように留まり易く、その結果、支持面６１上で支持する遊技球Ｂの中央底部６２から流入口５０に入る確率を高くできて、遊技の趣向性を一層向上させることができる。

【００４４】

なお、上記の作用効果を高めるために、図９～１１示す実施形態の変形例のリフト６０

Ａのように、支持面６１Ａを構成してもよい。この支持面６１Ａは、その凹面が、中央底部６２の後縁６２ａ（６１ｂ）側を最も低く凹ませるすり鉢状に形成されている。このような支持面６１Ａでは、遊技球Ｂを留まり易くした中央底部６２が、さらに中央底部６２の後縁６２ａ側で遊技球Ｂを留め易くすることとなって、遊技球Ｂを支持した支持面６１Ａが、リフト６０Ａの上昇に伴った流入口５０の下縁付近に到達した際、中央底部６２の後縁６２ａ側から遊技球Ｂを流入口５０に流入させ易くなり、支持面６１Ａで支持した遊技球Ｂを流入口５０に流入させる確率を高くできて、遊技の趣向性を一層向上させることができる。

【００４５】

なお、上記の点を考慮しなければ、円弧状やすり鉢状に下方へ凹む凹面でなく、左右方向の中央付近を、左縁部６３や右縁部６４から下方へ凹ませるとともに、後下がりに傾斜した状態の平面状の部位とするような凹面として、支持面６１を構成してもよい。

【００４６】

また、実施形態の遊技機１では、リフト６０の最下降時の支持面６１の前側における下ステージ３２の下転動面３３における中央部３４の前後の部位に、下ステージ３２から下方の始動入賞口９側に自由落下させる排出路４４を構成する前下がりの傾斜面３６，３６と、遊技球Ｂをリフト６０の支持面６１側に案内可能な後下がりの案内面３５と、が配設されている（図４，６参照）。そのため、下ステージ３２の下転動面３３を遊技球Ｂが転動する際、遊技球Ｂが、案内面３５を経てリフト６０に載るか、あるいは、排出路４４を経て下ステージ３２から落下するかと、遊技者にハラハラドキドキさせることとなって、一層、遊技の趣向性を向上させることができる。

【００４７】

さらに、図１２，１３に示す実施形態の変形例のリフト６０Ｂのように、支持面６１上で支持した遊技球Ｂを落下させない範囲の振幅で上下若しくは左右に振動しつつ、上昇するように配設してもよい。このリフト６０Ｂでは、支持脚部６６Ｂ，６６Ｂの側面に、細かい凹凸部６６ａが上下方向に沿って連続的に形成され、区画壁３９Ｂの収納孔３９ａの内周面側に、凹凸部６６ａに嵌合するような小さな突起３９ｃが部分的に形成されている。左右の支持脚部６６Ｂ，６６Ｂに設けられる凹凸部６６ａは、略半ピッチ分、上下にずれ、収納孔３９ａの内周面側の突起３９ｃは同じ高さ位置に配置されている。そのため、リフト６０Ｂの上昇時には、左右の突起３９ｃ，３９ｃを凹凸部６６ａが乗り越える際、左右でタイミングをずらしてリフト６０Ｂが上昇し、その際のタイミングのずれを利用して、リフト６０Ｂが、支持面６１上で支持した遊技球Ｂを落下させない範囲の振幅で上下若しくは左右に振動しつつ、上昇することとなる。そのため、このような構成では、支持面６１上で支持されて上昇する遊技球Ｂが、単に、時計の振り子のように左右に揺動するだけでなく、微妙に振動しつつ支持面６１上を左右に揺動するため、流入口５０に流入可能か否かと、遊技者に一層ハラハラドキドキさせることができる。

【００４８】

なお、このようなリフトを振動させる構成としては、他に、駆動機構７５の一部に駆動時に断続的な動きとなるような凹凸を設けて、例えば、カムレバー７８，７８Ｒとその周囲の飾り枠体１３の部位とに、あるいは、偏心カム７７のピン７７ａとカムレバー７８の摺動溝７８ａとに、さらに、クランク８０，８０Ｒのピン８０ｄとリフト６０の摺動溝部６７とに、対応する凹凸を設けて、支持面６１上で支持した遊技球Ｂを落下させない範囲の振幅で、リフト６０を上下若しくは左右に振動させつつ、上昇させるように構成してもよい。

【００４９】

また、実施形態の遊技機１では、入賞補助通路４９における流出口５１側の流出側通路５２に、リフト６０側に延びる分岐通路５３を設け、そして、リフト６０には、最上昇位置への配置時に、下ステージ３２の下転動面３３の案内面３５からリフト６０側に転動する遊技球Ｂを分岐通路５３を経て流出側通路５２へ流入可能に開口し、かつ、下降時に下ステージ３２の案内面３５の下方に隠れる第２流入口６９が、配設されている。そのため

、実施形態では、上ステージ２０側に開口した第１の流入口５０への流入を逃した遊技球Ｂを、リフト６０の上昇時に開口する第２流入口６９に流入させて、入賞補助通路４９の流出口５１から始動入賞口９に入球させることができ（図６のＢ参照）、遊技者に、入賞補助通路４９への遊技球Ｂの流入の期待感を増進させることができる。また、この第２流入口６９は、常時開口している訳ではなく、リフト６０の下降に伴って閉口するものであって、リフト６０の上下往復移動に伴って開閉を繰り返すことから、第２流入口６９に入るか否かと遊技者にハラハラドキドキさせることができて、一層、遊技の趣向性を向上させることができる。

【００５０】

さらに、実施形態の遊技機１では、入賞補助通路４９における流出口５１側の流出側通路５２が、リフト６０の支持面６１の下方で、前後方向に貫通するように配設され、リフト６０には、下部に、入賞補助通路４９の流出側通路５２の内周側に延びて、流出側通路５２内の遊技球Ｂを減速させて流出口５１側へ案内可能に、遊技球Ｂに接触する干渉部７１が、配設されている。すなわち、入賞補助通路４９の流出側通路５２を通過する遊技球Ｂが、干渉部７１に接触して減速するため（図５，７のＣ，Ｂ参照）、流出口５１から流出する遊技球Ｂが、始動入賞口９への入球確率を高めることができ、このため、流入口５０，６９の存在感を高めて、流入口５０，６９へ入るか否かと一層遊技者にハラハラドキドキさせることができ、遊技の趣向性を向上させることができる。そしてまた、このような構成では、流入口５０へ流入した遊技球Ｂに接触させて遊技球Ｂを減速させる干渉部７１を、支持面６１で支持した遊技球Ｂを流入口５０に流入可能に上下動を繰り返すリフト６０に、設けており、別途、干渉部７１を配設しなくともよく、部品点数を少なく構成できる。そして特に、干渉部７１が、上下動を繰り返すリフト６０に配設されていれば、干渉部７１の遊技球Ｂに接触するタイミングや接触の程度を、リフト６０の上下動に伴って種々設定でき、遊技球Ｂの減速の有無や減速の程度の調整や設定を、容易に行うことができる。

【００５１】

なお、実施形態では、干渉部７１の構成として、リフト６０の最上方位置の配置時から、下転動面３３の案内面３５から上方に開口している第２流入口６９が、開口面積をほぼ半分程度まで狭める高さ位置まで下降する際、流出側通路５２の左右両側から流出側通路５２の中心側へ延びるように配設されている（図５，７のＣ，Ｂ参照）。そして、流出側通路５２を通過する遊技球Ｂは、リフト６０の上昇時に、干渉部７１，７１に接触して停止する構成として、リフト６０の下降に伴い、干渉部７１，７１が遊技球Ｂの前面側から下方に移動して、遊技球Ｂは、減速された状態で流出口５１側に転動し、落下する放物線を始動入賞口９へ入賞し易い軌跡として、始動入賞口９に入賞する確率を高めて、流出口５１から流出している。すなわち、リフト６０の最上昇時に、流出側通路５２に干渉部７１，７１を配置させて、リフト６０の最下降時に、干渉部７１，７１を流出側通路５２から離脱させる構成とし、リフト６０の最上昇時に、支持面６１上で支持した遊技球Ｂが、流入口５０に流入して直ちに、流出側通路５２を流出口５１側に転動する際、あるいは、リフト６０の上昇に伴って開口した第２流入口６９から遊技球Ｂが流入しても、それらの遊技球Ｂを干渉部７１，７１が受け止めて、そして、リフト６０の下降に伴って、それらの遊技球Ｂを減速させた状態で流出口５１側に転動でき、リフト６０で持ち上げた遊技球Ｂや第２流入口６９に流入した遊技球Ｂを、始動入賞口９への入賞確率をより高めた安定した速度で、流出口５１から流出させることができる。。

【００５２】

上記の点を考慮しなければ、図１４，１５に示す干渉部７１Ａ、７１Ａのように、リフト６０の最下降時付近において、入賞補助通路４９の周壁のスリット５４を経て流出側通路５２の内周側に侵入して、流出口５１側へ通過する遊技球Ｂを減速させるように停止させ、そして、リフト６０の上昇時、停止させた遊技球Ｂの前面から上方に離脱して、減速させた状態で遊技球Ｂを流出口５１側に転動させるように構成してもよい。

【００５３】

なお、実施形態の干渉部７１は、リフト６０の最下降時の時期付近に流出側通路５２を通過する遊技球Ｂには接触せず、その遊技球Ｂを減速できないように設定されている。また、図１４，１５に示す干渉部７１Ａは、リフト６０の最上昇時の時期付近に流出側通路５２を通過する遊技球Ｂには接触せず、その遊技球Ｂを減速できないように設定されている。

【００５４】

上記の点を改良する場合には、図１６，１７に示すように、リフト６０の最上昇位置付近と最下降位置付近とにおいて、流出側通路５２を通過する遊技球Ｂと接触可能な干渉部７１Ｂ，７１Ｂを、リフト６０に設けてもよい。この干渉部７１Ｂ，７１Ｂは、ある程度の形状保持性を有して弾性変形可能なゴムや合成樹脂から形成される薄肉状のヒレ部７２，７２から構成されている。そして、各ヒレ部７２，７２は、入賞補助通路４９の周壁のスリット５４を経て流出側通路５２内に侵入し、リフト６０が最上昇位置付近と最下降位置付近とに配置される際に、流出側通路５２を通過する遊技球Ｂと接触可能な二つの凸板部７２ａ，７２ｂを備えるとともに、凸板部７２ａ，７２ｂ間に、左右のヒレ部７２，７２間に遊技球Ｂの外径寸法より僅かに大きな開口を形成可能な凹部７２ｃを設けて構成されている。

【００５５】

このような干渉部７１Ｂ，７１Ｂでは、流出側通路５２を流出口５１側に通過する遊技球Ｂが、凸板部７２ａ，７２ｂに当たって減速されるように停止され、遊技球Ｂの前面側から凸板部７２ａ，７２ｂが離脱して、遊技球Ｂが減速された状態で、流出口５１側に転動したり、あるいは、遊技球Ｂが、左右の凹部７２ｃ，７２ｃ間をヒレ部７２，７２に接触せずに通過して、減速されずに流出口５１側に転動する。さらに、ヒレ部７２の凸板部７２ａ，７２ｂの一部に接触して、遊技球Ｂが、ヒレ部７２の一部を弾性変形させるように撓ませつつ、減速する程度を少なくして、流出口５１側に転動させることができる。このような干渉部７１Ｂでは、リフト６０の上下往復移動する際のタイミングに応じて、遊技球Ｂの減速の程度を異ならせて、遊技球Ｂを流出口５１側に転動させることができる。

【００５６】

なお、実施形態では、第２流入口６９の下方に干渉部７１を設けた場合を示したが、第２流入口６９を開口させずに、干渉部７１，７１Ａ，７１Ｂを設けてもよい。勿論、干渉部７１，７１Ａ，７１Ｂを設けずに、第２流入口６９を設けるようにリフト６０を構成してもよい。

【００５７】

また、実施形態では、デジパチタイプの遊技機１について説明したが、デジパチタイプ以外のセンター役物のあるハネモノタイプのパチンコ遊技機等に、本発明を適用してもよい。

【００５８】

さらに、実施形態では、ステージ部１９への遊技球Ｂの入球が、パイプ状のワープ通路１７からなる入球口を使用して行われる場合を例示したが、単に、飾り枠体１３の内外を貫通する入球口を利用して、ステージ部１９上に遊技球Ｂを入球させるように構成してもよい。

【００５９】

さらにまた、リフト６０，６０Ａ，６０Ｂ、あるいは、ステージ部１９の中央部２２，３４付近は、内部を通過する遊技球Ｂを視認できるように、ある程度の透明度を有した合成樹脂材料等からなる透明体（若しくは半透明体）から形成してもよい。

【図面の簡単な説明】

【００６０】

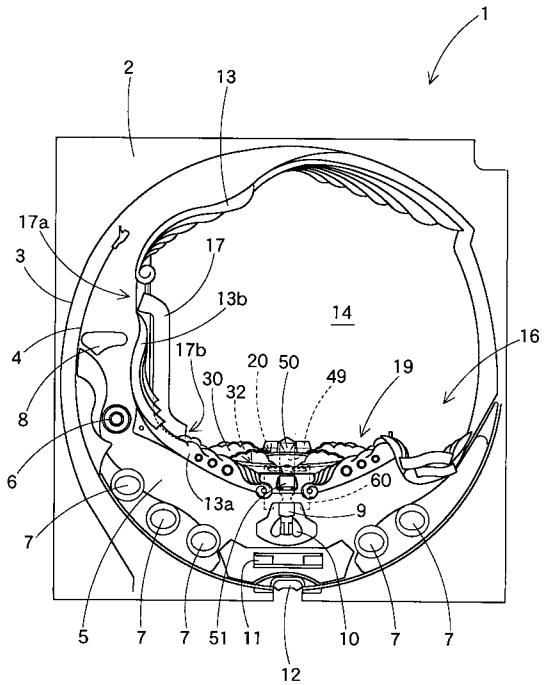
【図１】本発明の一実施形態のパチンコ遊技機における遊技盤面を示す概略正面図である。

【図２】実施形態のセンター役物を示す左方から見た概略斜視図であり、リフトの最下降時の状態を示す。

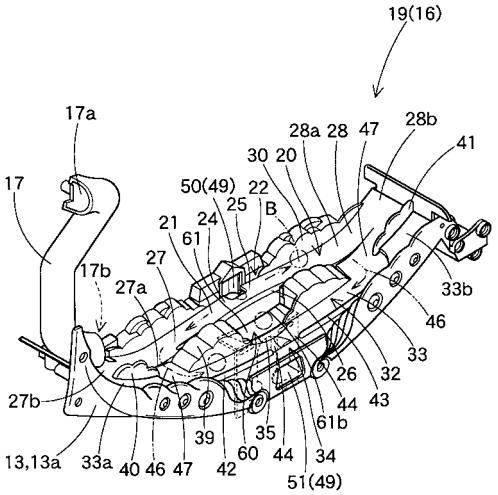
【図３】実施形態のセンター役物を示す右方から見た概略斜視図であり、リフトの最下降時の状態を示す。
【図４】実施形態のセンター役物を示す右方から見た概略斜視図であり、リフトの上昇時の状態を示す。
【図５】実施形態のリフト付近の概略正面図であり、最下降位置から最上昇位置まで上昇する状態を順に示す。
【図６】実施形態のリフト付近における図５のＡのVI－VI部位に対応する前後方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降時と最上昇時との状態を示す。
【図７】実施形態のリフト付近における図６のＡのVII－VII部位に対応する左右方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降位置から最上昇位置まで順に上昇する状態を示す。
【図８】実施形態のリフトとその駆動機構を示す概略斜視図である。
【図９】実施形態の変形例のリフトの斜視図である。
【図１０】図９に示すリフトを使用した遊技機のリフト付近の概略正面図であり、リフトの最下降位置から最上昇位置まで上昇する状態を順に示す。
【図１１】図９に示すリフトを使用した遊技機のリフト付近における図１０のＡのXI－XI部位に対応する前後方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降時と最上昇時との状態を示す。
【図１２】実施形態の他の変形例のリフトの斜視図である。
【図１３】図１２に示すリフトを使用した遊技機のリフト付近の概略正面図であり、振動しつつ上昇する状態を示す図である。
【図１４】実施形態のさらに他の変形例のリフトを使用した遊技機のリフト付近の左右方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降位置から最上昇位置まで上昇する状態を示す図である。
【図１５】図１４に示すリフトを使用した遊技機のリフト付近における前後方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降時と最上昇時との状態を示す。
【図１６】実施形態のさらに他の変形例のリフトを使用した遊技機のリフト付近の左右方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降位置から最上昇位置まで上昇する状態を示す図である。
【図１７】図１６に示すリフトを使用した遊技機のリフト付近における前後方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降時と最上昇時との状態を示す。
【符号の説明】
【００６１】
１…（パチンコ）遊技機、
９…（始動）入賞口、
１６…センター役物、
１７…（入球口）ワープ通路、
１９…ステージ部、
２０…上ステージ、
２４，２５…隣接エリア、
３２…下ステージ、
３５…案内面、
３６…傾斜面、
４４…排出路、
４６…戻しルート、
４９…入賞補助通路、
５０…流入口、
５１…流出口、
５２…（流出口側の部位）流出側通路、
５３…分岐通路、

６０，６０Ａ…リフト、
６１，６１Ａ…支持面、
６１ａ…前縁、
６１ｂ…後縁、
６２…中央底部、
６９…第２流入口、
７１，７１Ａ，７１Ｂ…干渉部、
Ｂ…遊技球。

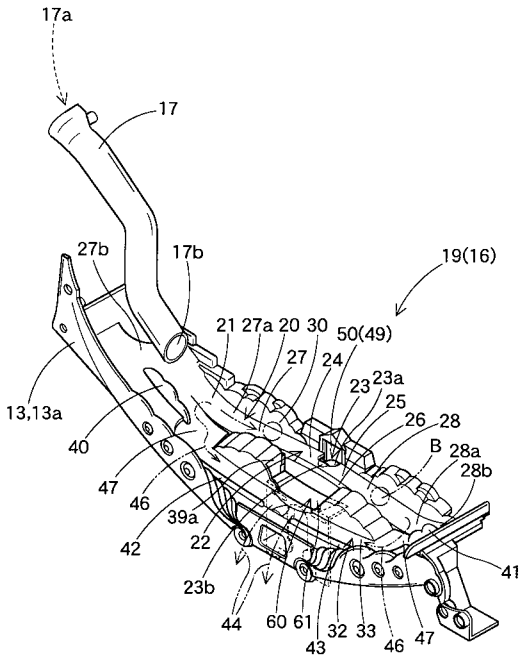
【図１】



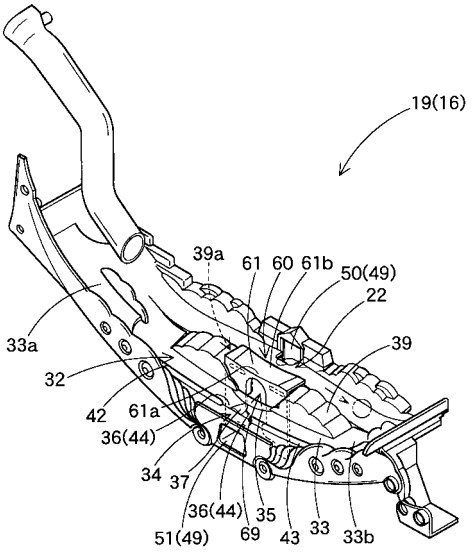
【図２】



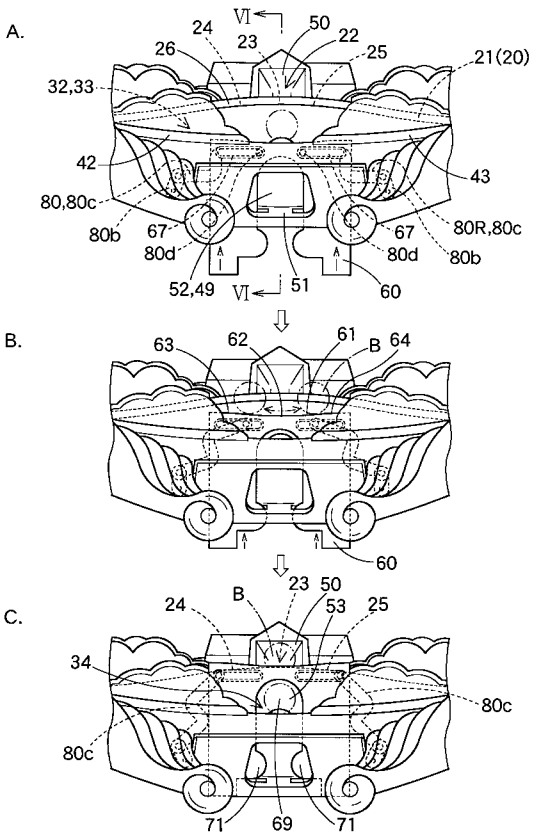
【図３】


17a
17
27b
17b
19(16)
21 27a 20 30
50(49)
27
24
23
23a
25
26
28
B
28a
28b
13,13a
40
47
46
39a
42
22
23b
41
44
60 61
32
33
43
46
47

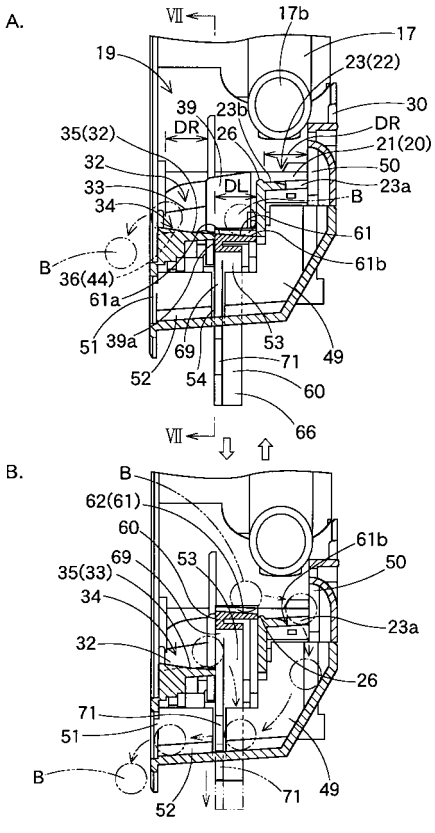
【図４】


19(16)
39a
61
60
61b
50(49)
22
39
33a
32
42
61a
36(44)
34
37
36(44)
35
51(49)
69
43
33
33b

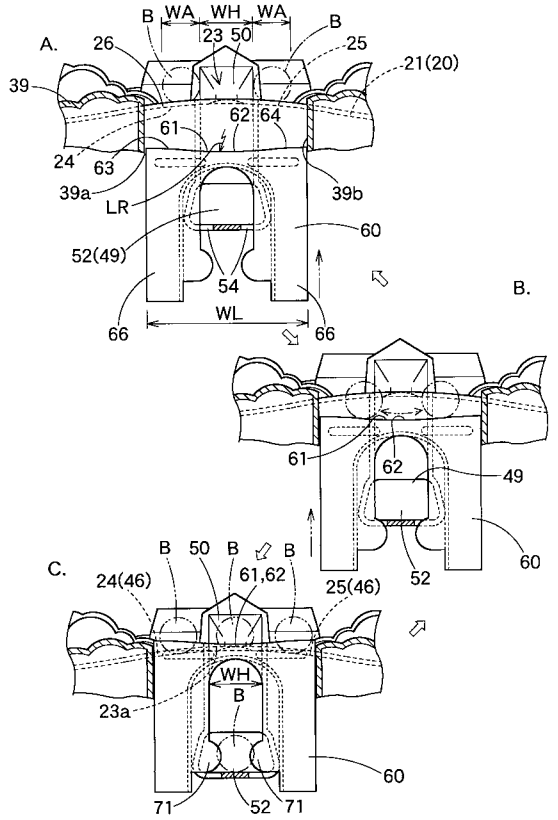
【図５】


A.
VI
24
23
50
22
25
21(20)
26
32,33
42
43
80,80c
80b
67
80d
67
80d
80R,80c
80b
52,49
VI
51
60
B.
63
62
61
B
64
60
C.
23
50
24
B
53
25
34
80c
80c
71
69
71

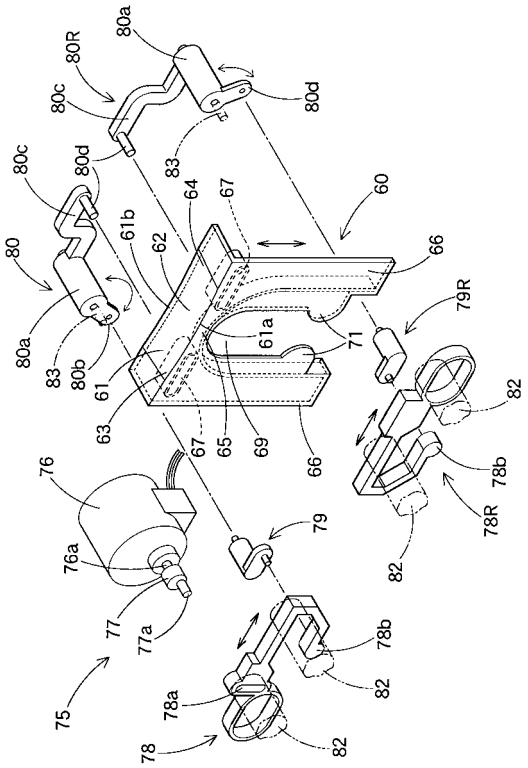
【図６】


A.
VII
17b
17
19
23(22)
39
23b
30
DR
DR
26
21(20)
35(32)
32
50
33
DL
B
23a
34
61
B
61b
36(44)
61a
51
39a
69
53
71
49
52
54
60
66
VII
B.
B
62(61)
60
61b
69
53
50
35(33)
34
23a
32
26
71
51
B
71
49
52

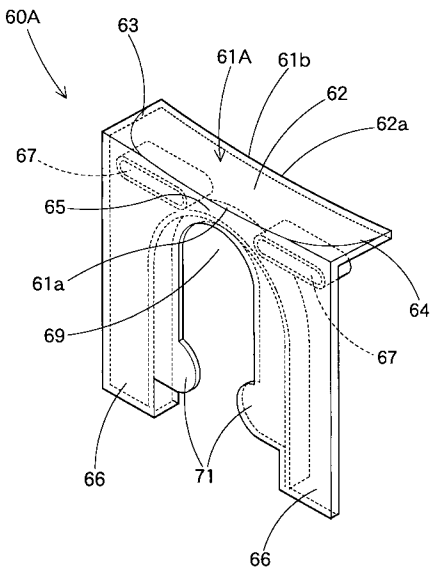
【図７】


A.
B
WA
WH
WA
B
23
50
26
25
21(20)
39
62
64
61
24
63
39a
LR
39b
60
52(49)
54
B.
66
WL
66
61
62
49
60
52
C.
B
50
B
B
B
24(46)
61,62
25(46)
WH
B
23a
60
71
52
71

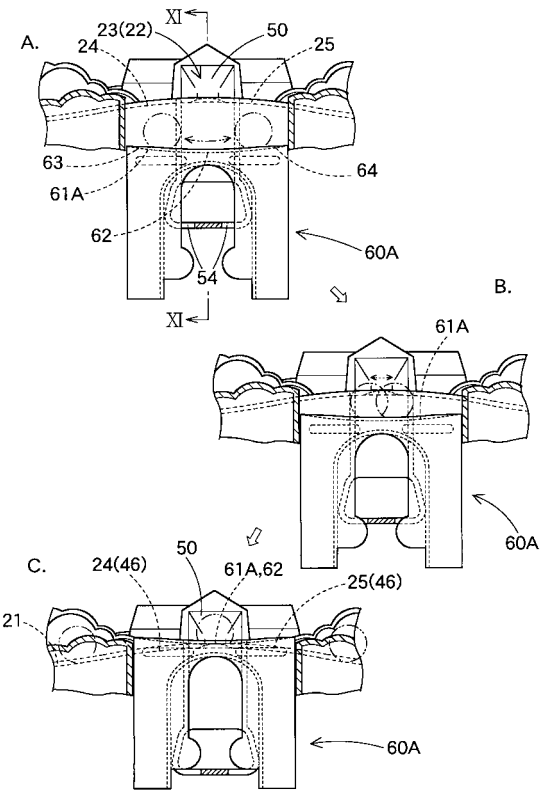
【図８】


80a
80R
80c
80d
83
64
67
60
80c
80d
61b
62
66
80
79R
80a
83
80b
61
61a
71
82
63
67
65
69
66
78b
76
78R
79
76a
82
77
77a
78b
75
78a
82
78
82

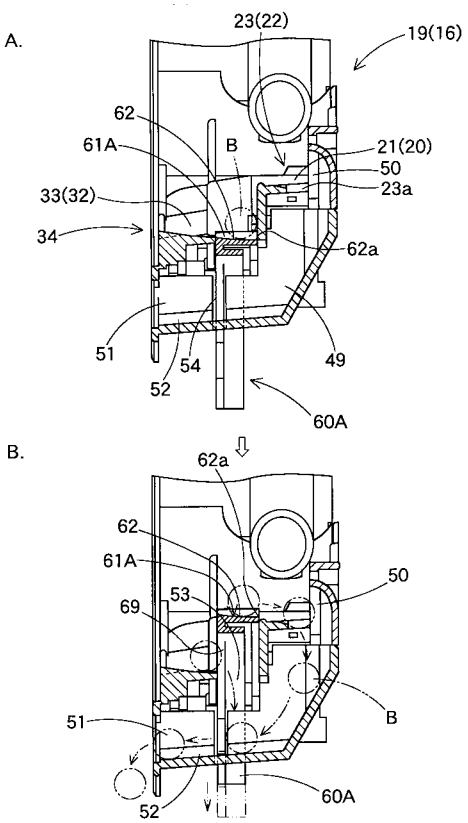
【図９】


60A
63
61A
61b
62
62a
67
65
61a
64
69
67
66
71
66

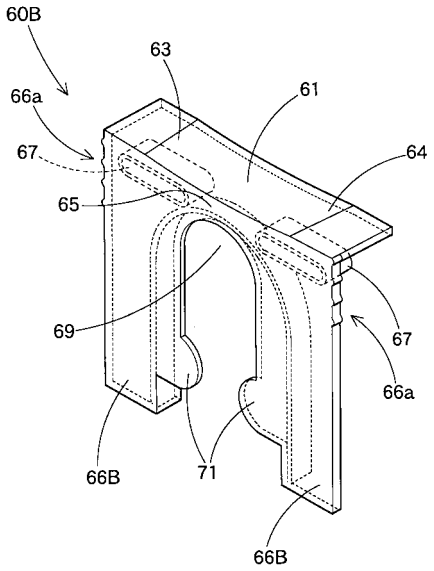
【図１０】


A.
XI
23(22)
24
50
25
63
64
61A
62
60A
54
XI
B.
61A
60A
C.
24(46)
50
61A,62
25(46)
21
60A

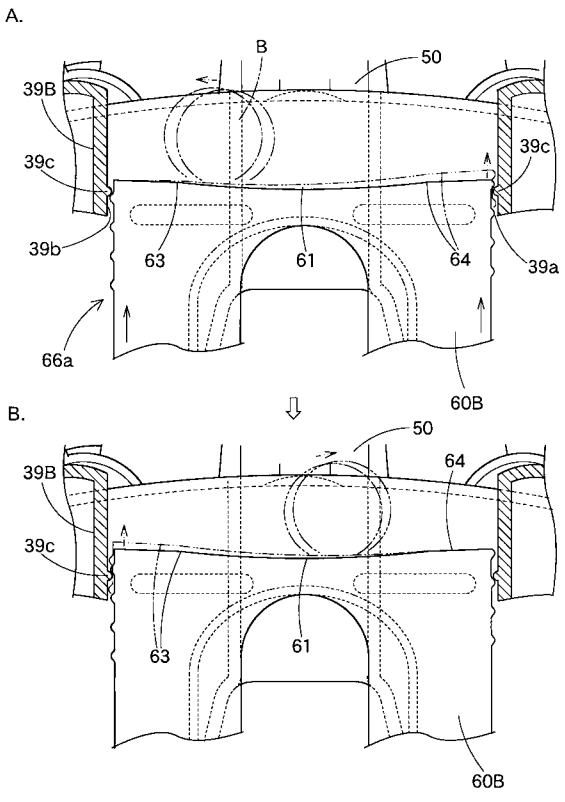
【図１１】



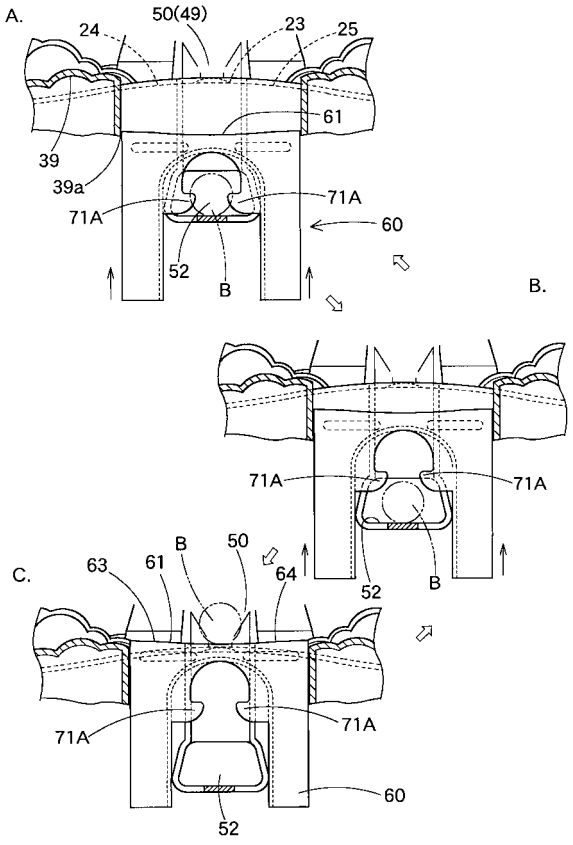
【図１２】



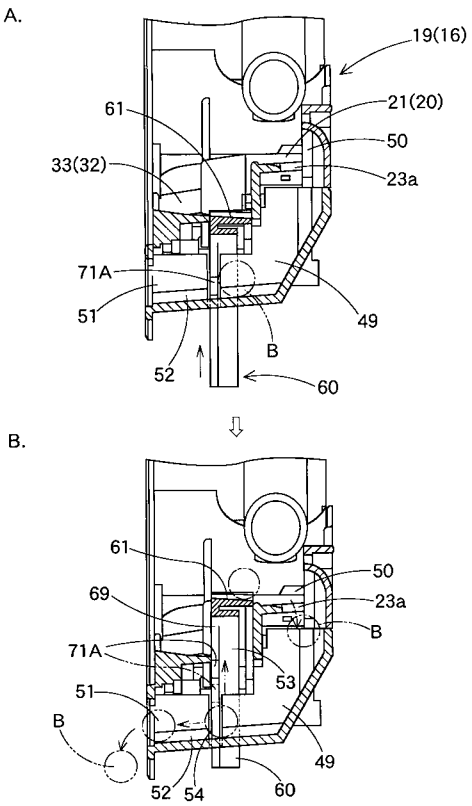
【図１３】



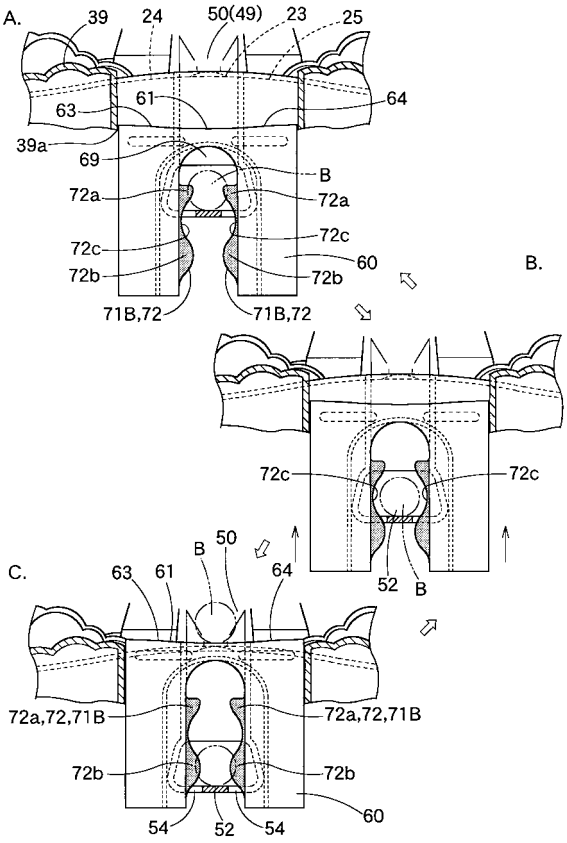
【図１４】



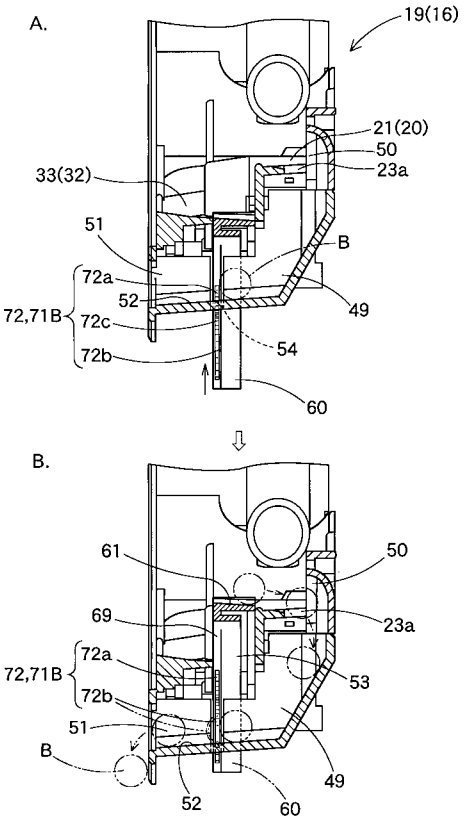
【図１５】


A.
19(16)
21(20)
50
23a
61
33(32)
71A
51
49
B
52
60
B.
61
50
69
23a
B
71A
53
51
B
49
52
54
60

【図１６】


A.
39
24
50(49)
23
25
61
63
64
39a
69
B
72a
72a
72c
72c
72b
60
72b
71B,72
71B,72
B.
72c
72c
B
50
C.
63
61
64
52
B
72a,72,71B
72a,72,71B
72b
72b
60
54
52
54

【図１７】


A.
19(16)
21(20)
50
23a
33(32)
51
B
72a
52
49
72,71B
72c
54
72b
60
B.
61
50
69
23a
72a
53
72,71B
72b
51
B
49
52
60

フロントページの続き

(72)発明者　佐藤　彰芳
愛知県名古屋市中区錦三丁目２４番４号　京楽産業．株式会社内

審査官　酒井　保

(56)参考文献　特開2006-136501（ＪＰ，Ａ）
特開2000-350815（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ａ６３Ｆ　　７／０２